

【視察日及び視察先】 2024年5月24日（金） 栃木県宇都宮市

【視察項目】 ジャズのまちづくりについて

【概要】

宇都宮市役所において、宇都宮市のジャズのまちづくりの取組について調査した。事前調査票に基づき、回答を得た後、個別の質問をした。

宇都宮市は世界的サクソ奏者渡辺貞夫氏の出身地。

『うつのみやジャズのまち委員会』がアマ・プロ音楽家の生ライブを中心に市街地で開催している。

小中学校の吹奏楽部にジャズ指導が実施され（全6～8回）ジャズの人材育成にも取り組んでいる。

宇都宮ジャズ協会には、2024年8月時点で、ジャズバー、ジャズスポット、ライブハウス、レストラン、カフェ等16軒、ミュージシャンは121人が加盟・登録している。

調査日の前夜『近代人』というライブハウスで、約1時間半、ジャズの店の体験をした。（全額自己負担）

【所感（意見・課題・本市への反映など）】

宇都宮市は、そもそもジャズで世界的に有名な渡辺貞夫氏の出身地であることから、ジャズをブランド化できる土壌があった。

人口が約51万人の地方の中核都市であり、商業的にもジャズなどミュージシャンの育つ要素がある。

宇都宮市が渡辺貞夫氏のジャズと餃子の都市ブランドを生かして街のにぎわいにつなげていることは、本市のブランドを生かした街づくりをする上で参考になった。

ときわ公園のビエンナーレなど、本市で開催するイベントで、ジャズに限らず音楽とコラボレーションすれば活気が出るのではと思う。音楽から生まれるエネルギーを見習いたい。

音楽の種類に関しては本市独特のテーマを見つけるべきだと思う。

【主な質疑】

【問】 事業費は。

【答】 市の補助金は1,444千円である。その他、セミナーの参加費やジャズライブの開催負担金、チケット代、書籍にかかる協賛金などを含む総事業費は、2023年度は5,326千円（2022年度は2,250千円）

【問】 国際大会は開催しているのか。

【答】 していない。

【問】 課題は。

【答】 ビッグバンドなどは多人数のため、練習会場の確保に課題。

【問】 若い人たちの反応は。

【答】 それなりに受け入れられていると思う。



各種ジャズイベントのパンフレット



毎夜、市内の専門店ではジャズの生演奏が行われている